

## 目標

持続可能な社会に貢献する

第4期消費者基本計画より(令和2年3月閣議決定)

## 定義

「消費者」と「共創・協働」して「社会価値」を向上させる経営

消費者

事業者が提供する商品・サービスを現在、若しくは将来利用又は、関与する可能性のある主体

※消費者の多様化の結果、捉えられる消費者の例

高齢者、外国人、障がい者、地域住民、エンドユーザー、従業員等

共創・協働

事業者が消費者との双方向コミュニケーションにより、消費者がワクワクする商品・サービス・体験を共有し、消費者とのWIN-WINの関係になること

社会価値

事業者が本業を通して、地域や社会の課題解決に寄与し、社会全体の持続可能性の向上を目指すことから生み出されるもの

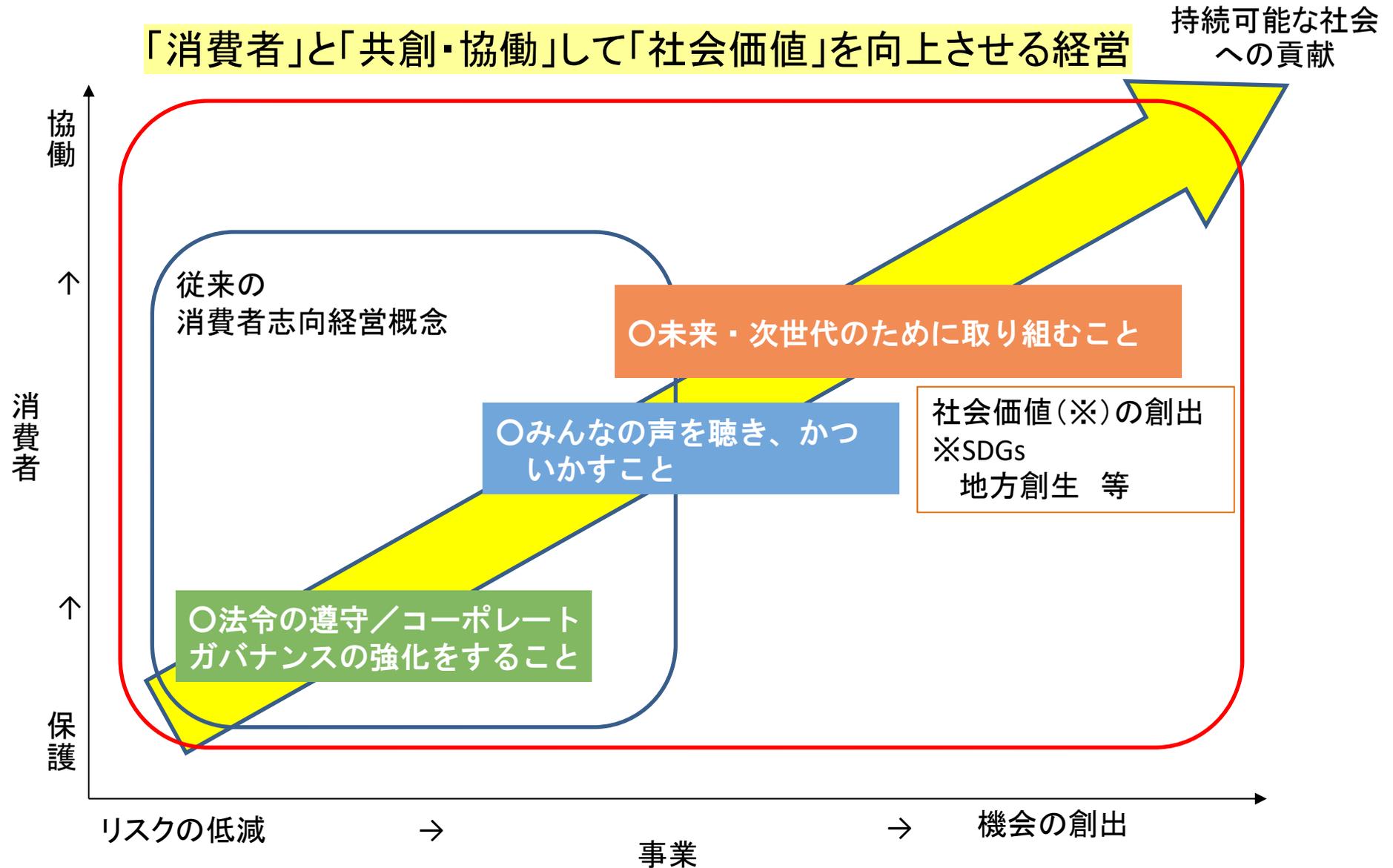
## 活動

○みんなの声を聴き、かついかすこと

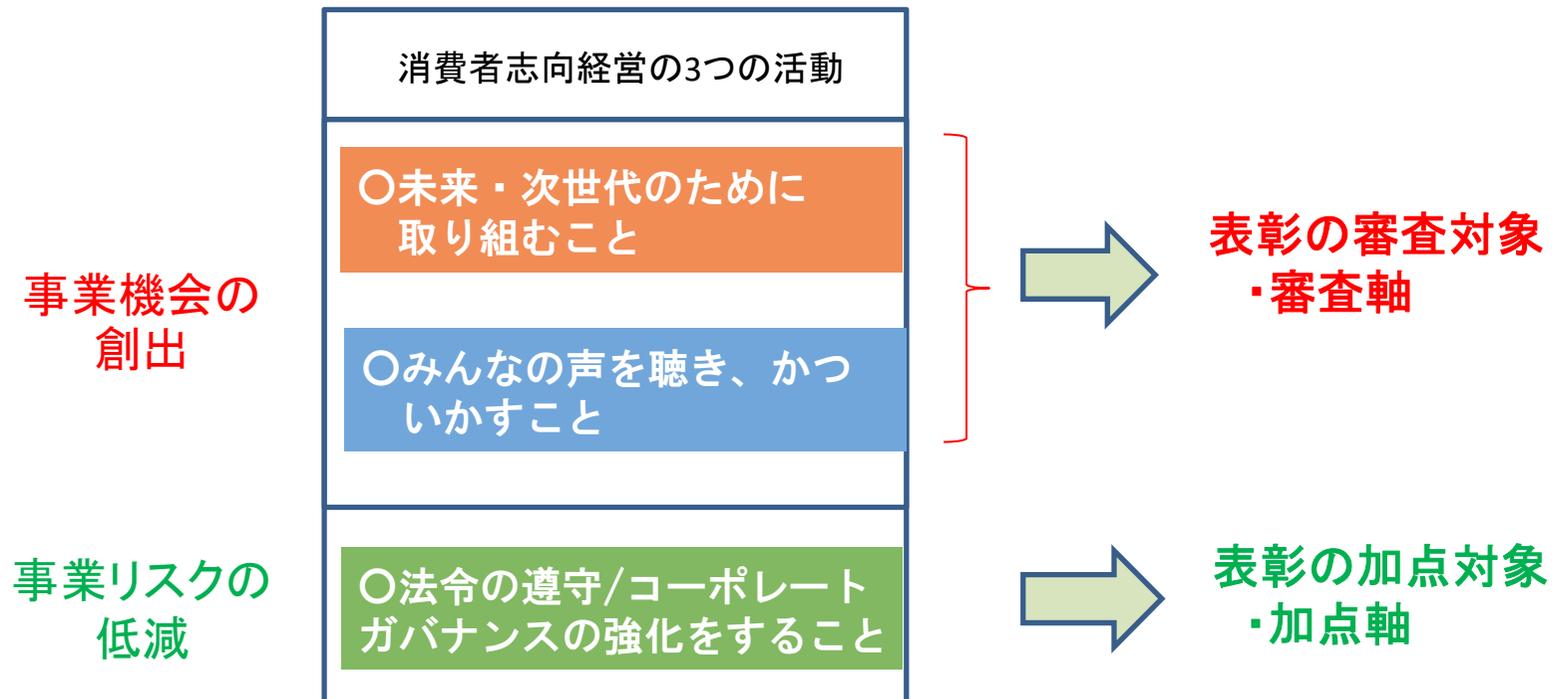
○未来・次世代のために取り組むこと

○法令の遵守/コーポレートガバナンスの強化をすること

# 従来の消費者志向経営との違い



# 令和2年度消費者志向経営優良事例表彰の考え方



# 令和2年度優良事例表彰における評価の軸について

## ○未来・次世代のために取り組むこと

社会価値の創出	創出した社会価値が、地域や社会、地球環境の課題解決に寄与していること
消費者の行動変容	持続可能性のある商品・サービス等の提供を通じて、消費者の行動変容を促していること
事業の継続性	消費者志向の事業を通し、将来に向けて継続して成長していること

## ○みんなの声を聴き、かついかすこと

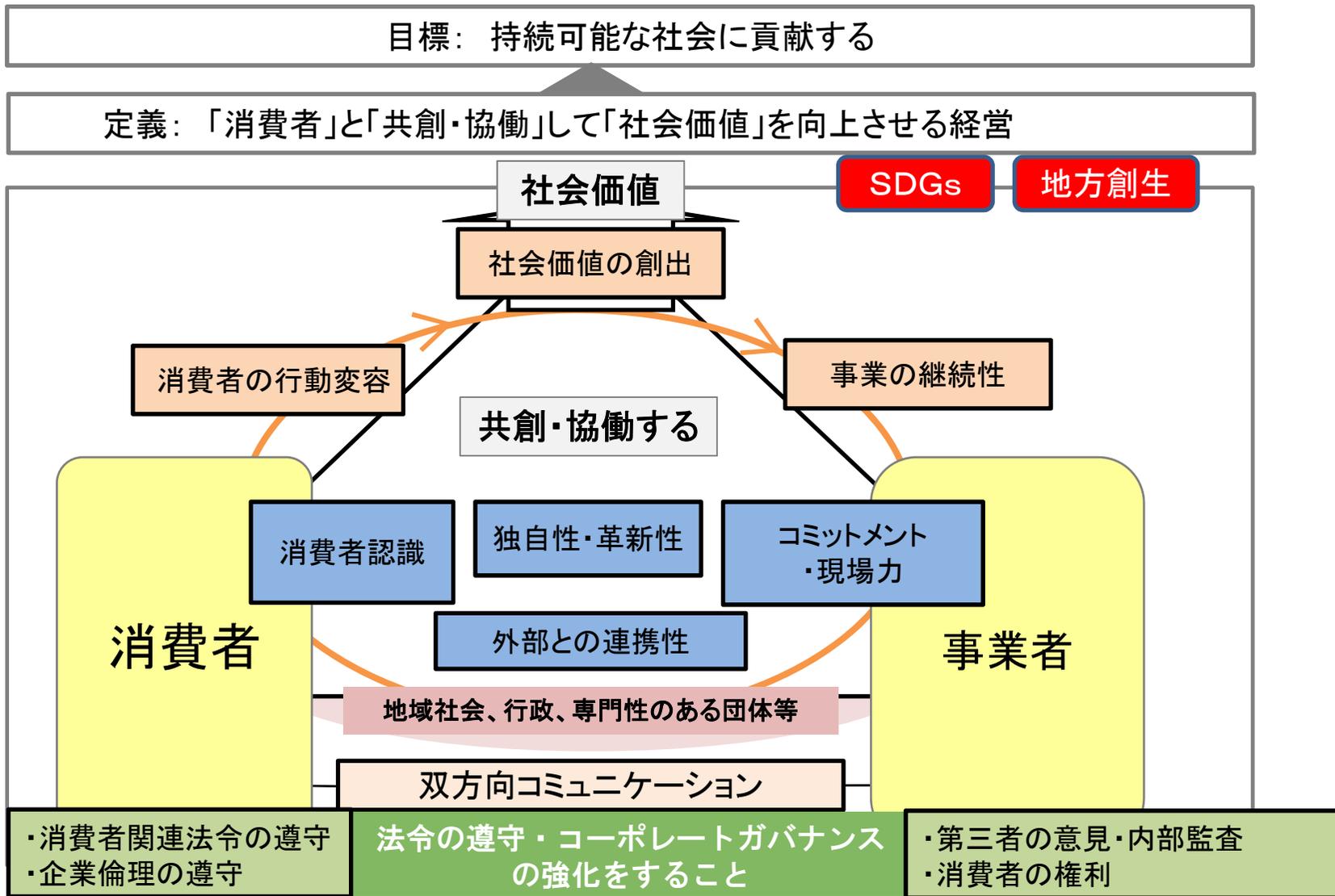
コミットメント・現場力	経営陣が、消費者志向経営に対して明確なコミットメントを表明し、社員が積極的に活動できる体制があること
消費者認識	対象となる消費者を、的確に把握し捉え、共に取り組んでいること
独自性・革新性	「自社らしさ」を生かしながら、新たな発想も取り入れること
外部との連携性	地域や社会、地球環境の課題解決に向けて、社外(地域社会、行政、他社、専門性のある団体等)と協力していること
双方向 コミュニケーション	消費者の特性に合った手段を通じ、消費者がわかりやすい情報を発信し、消費者と共感する関係を構築していること

・消費者関連法令の遵守  
・企業倫理の遵守

法令の遵守・コーポレートガバナンス  
の強化をすること

・第三者の意見  
・内部監査  
・消費者の権利

# 令和2年度優良事例表彰における評価の軸の概念図

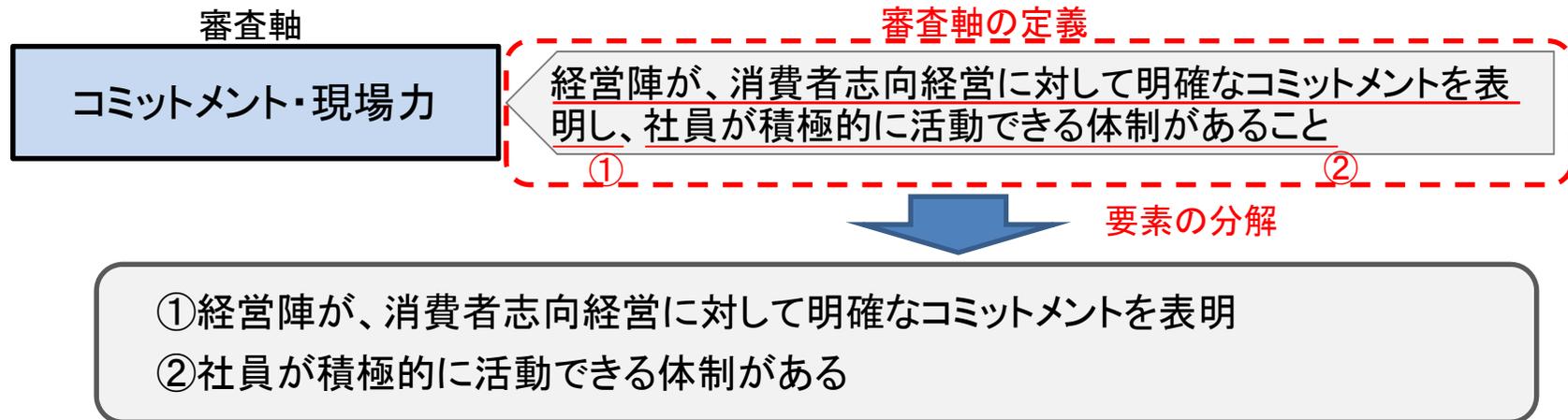


# 審査軸から設問内容への落とし込みの考え方

## STEP1

<例>

審査軸の定義↓要素の分解



## STEP2

要素↓設問作成

①経営陣が、消費者志向経営に対して明確なコミットメントを表明



・設問: 経営者コミットメント(明文化)

設問作成 ・設問: 発信の有無

②社員が積極的に活動できる体制がある



・設問: 推進体制への経営の関与(最高責任者レベル、経営会議・取締役の議題の有無)

設問作成 ・設問: 社員への浸透(浸透方法の種類)

# 加点軸からの設問内容への落とし込みの考え方

## STEP 1

既存のESG評価機関  
の設問整理

法律遵守

社会的な規範の遵守

情報セキュリティ

リスクマネジメント

内部通報制度

情報開示

汚職・政治献金

## STEP 2

共通項に消費者志向経営  
の要素を加味し作成

消費者志向経営の要素⇒消費者の権利擁護、消費者関連法規の遵守

### 法令遵守

- ・設問: 消費者関連法規の遵守
- ・設問: 企業倫理を遵守する体制

### コーポレートガバナンス

- ・設問: 第三者の意見の取入れの体制
- ・設問: 内部監査の体制
- ・設問: 消費者権利擁護に対応した体制整備  
(安全である権利、選ぶ権利、知らされる権利、  
消費者教育を受ける権利、意見を反映させる権利、  
救済を受ける権利)

# 設問形式の考え方

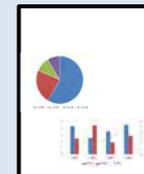
	審査軸	応募者の負担	審査の客観性	好事例の発掘
選択式	<b>択一選択</b> 設問例) 消費者志向経営の方針の明文化の有無 回答) はい、いいえ、検討中	軽	高	低
	<b>複数選択</b> 設問例) 消費者志向経営の方針の種類 回答) 1. 消費者志向自主宣言、2. 企業理念や社是、 3. 経営方針・経営計画 4. 行動憲章・指針・規範 5. その他	軽	高	低
	<b>複数選択＋具体例記載</b> 設問例) 消費者のニーズどう事業に活用 回答) □ 既存の商品・サービスの改良・販売方法等の改良に活用 具体的に( ) □ 新規の商品・サービスの開発・販売方法の開発に活用 具体的に( ) □ 新たな事業、領域の拡大に活用 具体的に( )	中	中	中
自由記載	<b>自由記載</b> 設問例) 外部の団体と連携をすることの効果 回答) ( )	重	低	高

- 設問形式は、「選択式」と「自由記載」から構成され、客観的審査を担保しつつ、優れた活動の発掘を目指す。
- 得られたデータについては、今後さらなる本事業の推進のための活用も検討。

チェックリスト

<input type="checkbox"/>	-----
<input checked="" type="checkbox"/>	-----
<input checked="" type="checkbox"/>	-----
<input checked="" type="checkbox"/>	-----
<input checked="" type="checkbox"/>	-----

取組に関する客観的データ



- 加点軸は、選択式(択一選択)のみ。



# 応募フォーム(フェイスシート)



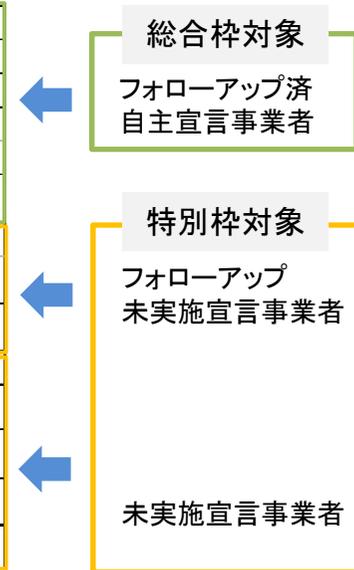
○応募に際し、以下の企業情報の入力求められる

## 応募フォーム

○貴事業者の情報をご記入ください。

ふりがな			
事業者名			
ふりがな		役職	
代表者名			
所在地	〒		
法人番号	※個人事業主等の法人格を持たない事業者は、記載いただく必要はありません。		
公式ウェブサイトのURL			
設立年月日(西暦)			
資本金(百万円)			
従業員数			
業種			
事業内容(100字以内)			
財務指標	前年度	今年度見込み	※営業利益がマイナスの場合の補足欄。
売上高(百万円)			
営業利益(百万円)			
ふりがな			
担当者氏名			
所属			
役職			
電話番号		FAX番号	
E-mail			

消費者志向自主宣言・フォローアップ活動への参加状況				
①消費者志向自主宣言が推進組織ウェブサイト(※1)に掲載されている。	Yes	No		
②フォローアップ結果が推進組織ウェブサイト(※1)に掲載されている。	Yes	No		
消費者志向自主宣言・フォローアップ活動への参加状況で、①と②のいずれもYesの場合				
既存の消費者志向自主宣言をPDFファイルにして添付してください。				
フォローアップ結果(消費者志向自主宣言の取組・成果・改善内容)の要点をA4で1~3枚程度にまとめPDFファイルにして添付してください。				
消費者志向自主宣言・フォローアップ活動への参加状況で、①のみYesの場合				
既存の消費者志向自主宣言をPDFファイルにして添付してください。				
フォローアップ期限までにフォローアップ結果が推進組織ウェブサイト(※1)に掲載されるべく速やかに着手する。			Yes	No
消費者志向自主宣言・フォローアップ活動への参加状況で、①と②のいずれもNoの場合				
反社会的勢力と関係を有する場合、及び公序良俗に反する行為を行った場合のいずれにも該当しない。			Yes	No
応募から1年以内に自主宣言が推進組織ウェブサイト(※1)に掲載されるよう速やかに着手する。			Yes	No
消費者関連法令(※2)に関して、過去5年間のうちに不利益処分等(※3)を受けていない。			Yes	No
応募後に消費者関連法令に関して不利益処分等を受けた場合又は不利益処分等を受ける可能性が生じた場合、速やかに事務局に申告する。			Yes	No



※1 推進組織ウェブサイト：消費者庁のウェブサイトをいう。  
 ※2 消費者関連法令：消費者庁が所管する法令に加え、広く生命身体・財産の安全に関する法令(保険業法(平成7年法律第105号)、道路運送車両法(昭和26年法律第185号)、航空法(昭和27年法律第231号)等)を含む。  
 ※3 不利益処分等：行政手続法(平成5年法律第55号)第2条第4号に規定する「不利益処分」並びに刑法(明治40年法律第45号)第9条に規定する「死刑、懲役、禁錮、罰金、拘留及び科料」及び「没収」をいう。

※業種に関しては、日本標準産業分類に該当する大項目を入力いただきます。

# 応募フォーム

## 審査軸(「みんなの声を聴き、かついかすこと」)



### ○みんなの声を聴き、かついかすこと

#### 1 コミットメント・現場力

##### (1) 経営者コミットメント

① 「消費者志向経営」を推進するための方針はありますか？

※1つのみ選択可

<input type="checkbox"/>	1	はい	<input type="checkbox"/>	2	いいえ	<input type="checkbox"/>	3	検討中
--------------------------	---	----	--------------------------	---	-----	--------------------------	---	-----

② 上記1(1)①において1または3を選択した場合、それはどのようなものですか？

※複数選択可。ただし、消費者志向自主宣言をしている場合は、「1」のみ選択してください。

<input type="checkbox"/>	1	消費者志向自主宣言	<input type="checkbox"/>	4	経営方針・経営計画
<input type="checkbox"/>	2	企業理念や社是	<input type="checkbox"/>	5	その他 50字程度
<input type="checkbox"/>	3	行動憲章・指針・規範			

##### (2) 発信

① 上記1(1)①がはいの場合、社外に向けて発信していますか？

※1つのみ選択可

<input type="checkbox"/>	1	はい	<input type="checkbox"/>	2	いいえ	<input type="checkbox"/>	3	検討中
--------------------------	---	----	--------------------------	---	-----	--------------------------	---	-----

##### (3) 推進体制

① 「消費者志向経営」を推進する最高責任者は、どの役職レベルが該当しますか？

※1つのみ選択可

<input type="checkbox"/>	1	経営層	<input type="checkbox"/>	3	その他 50字程度
<input type="checkbox"/>	2	執行役員			

② 取締役会・経営会議等で消費者志向に関する内容が議題に挙がる場合、それはどのようなことですか？具体例をご記載ください。

※複数選択可

<input type="checkbox"/>	1	方針	具体例	50字程度
<input type="checkbox"/>	2	活動	具体例	50字程度
<input type="checkbox"/>	3	効果測定	具体例	50字程度
<input type="checkbox"/>	4	改善	具体例	50字程度
<input type="checkbox"/>	5	その他	具体例	50字程度

##### (4) 社員への浸透

① 社員に「消費者志向経営」の理解を促すための取組をしていますか？

※1つのみ選択可

<input type="checkbox"/>	1	はい	<input type="checkbox"/>	2	いいえ	<input type="checkbox"/>	3	検討中
--------------------------	---	----	--------------------------	---	-----	--------------------------	---	-----

② 上記1(4)①がはいの場合、どのような取り組みをしていますか？具体例に実施の頻度等もご記載ください。

※複数選択可

<input type="checkbox"/>	1	経営層自らの発信	具体例	50字程度
<input type="checkbox"/>	2	管理職への研修・管理職によるワークショップの実施	具体例	50字程度
<input type="checkbox"/>	3	社員への研修・社員によるワークショップの実施	具体例	50字程度
<input type="checkbox"/>	4	社内への定着度の測定	具体例	50字程度
<input type="checkbox"/>	5	その他	具体例	50字程度

# 応募フォーム

## 審査軸(「みんなの声を聴き、かついかすこと」)

### ○みんなの声を聴き、かついかすこと

#### 2 消費者認識

##### (1) 配慮すべき消費者の認識

① 商品・サービスの提供において、配慮が必要な消費者の特性を把握するために、勉強会、疑似体験等を実施していますか？

※1つのみ選択可

 1 はい

 2 いいえ

 3 検討中

##### (2) 調査等による消費者ニーズの明確化

① 消費者の満足度向上のために、消費者のニーズを把握していますか？

※1つのみ選択可

 1 はい

 2 いいえ

 3 検討中

② 上記2(2)①がはいの場合、どのように把握していますか？

※複数選択可

<input type="checkbox"/>	1	アンケート
<input type="checkbox"/>	2	インタビュー
<input type="checkbox"/>	3	SNS
<input type="checkbox"/>	4	消費者相談

<input type="checkbox"/>	5	イベント・懇談会での交流
<input type="checkbox"/>	6	インフルエンサーとの交流
<input type="checkbox"/>	7	その他 <small>50字程度</small>

##### (3) 消費者ニーズの活用

① 上記2(2)で把握したニーズを事業にどのようにいかしているか、ご記載ください。

※複数選択可

<input type="checkbox"/>	1	既存の商品・サービスの改良・販売方法等の改良にいかしている	具体例	150字程度
<input type="checkbox"/>	2	新規の商品・サービスの開発・販売方法等の開発にいかしている	具体例	150字程度
<input type="checkbox"/>	3	新たな事業、領域の拡大にいかしている	具体例	150字程度
<input type="checkbox"/>	4	その他	具体例	150字程度

#### 3 独自性・革新性

##### (1) 独自性

消費者志向経営の活動のうち、自社の強みや競合他社と差別化できる「自社らしさ」がいかされているものがあれば、ご記載ください。

自由記載 100字程度

##### (2) 革新性

商品・サービスに新たな発想や技術を取り入れている事例があれば、ご記載ください。

自由記載 100字程度

#### 4 外部との連携性

##### (1) 社外との協働

① 事業に影響を与えるような地域、社会、または地球環境の課題の解決に向けて、社外と協力していますか？

※1つのみ選択可

 1 はい

 2 いいえ

 3 検討中

② 上記4(1)①がはいの場合、下記に例示するような外部の団体と連携をすることの効果をご記載ください。

例：行政や学術機関、NPO・NGO、消費者団体、地域の商工会等の経済団体、他企業等

自由記載 100字程度

# 応募フォーム 審査軸(共通「双方向コミュニケーション」)

## ○(共通)双方向コミュニケーション

1 双方向コミュニケーション			
(1) 消費者からの共感			
① 消費者から共感してもらえるような工夫をしていますか？			
※1つのみ選択可			
<input type="checkbox"/>	1	はい	
<input type="checkbox"/>	2	いいえ	
<input type="checkbox"/>	3	検討中	
② 上記1(1)①がはいの場合、工夫によってもたらされた結果を測定していますか？			
※1つのみ選択可			
<input type="checkbox"/>	1	はい	
<input type="checkbox"/>	2	いいえ	
<input type="checkbox"/>	3	検討中	
③ 上記1(1)②がはいの場合、測定した結果をどのようにいかしていますか？			
※複数選択可			
<input type="checkbox"/>	1	SNS等での情報発信・表現方法・コンテンツ	具体例 50字程度
<input type="checkbox"/>	2	SNS等以外での情報発信・表現方法・コンテンツ	具体例 50字程度
<input type="checkbox"/>	3	その他	具体例 50字程度

# 応募フォーム

## 審査軸(「未来・次世代のために取り組むこと」)



### ○未来・次世代のために取り組むこと

1 社会価値の創出	
(1) 社会価値インパクト	
以下の①から③を順にご記載ください。	
① 貴社の事業にとって重要な社会課題を1つご記載ください。30字程度	
② 上記1(1)①の課題の解決に結び付くように、消費者の声を踏まえて、提供している商品・サービスをご記載ください。150字程度	
③ 上記1(1)②について、消費者に使用・利用されることで生み出される社会価値や消費者価値についてご記載ください。	
(ア) 社会価値 (社会にもたらす良い影響)	100字程度
その良い影響の度合い、程度 (数量及び質的な指標を用いて記載すること)	100字程度
(イ) 消費者価値 (消費者にもたらす良い影響)	100字程度
その良い影響の度合い、程度 (数量及び質的な指標を用いて記載すること)	100字程度

2 消費者の行動変容	
(1) 消費者意識・行動変容	
① 消費者に意識や行動の変化を促すような、商品・サービスや情報を提供していますか？	
※1つのみ選択可	
1 はい	2 いいえ
3 検討中	
② 上記2(1)①がはいの場合、どのような商品・サービス、どのような情報かご記載ください。 上記の社会価値の創出(1)社会価値インパクト②で回答されている同商品・同サービスをご記入ください。	
※複数選択可	
1 商品・サービス	具体例 150字程度
2 情報	具体例 150字程度
3 その他	具体例 150字程度

# 応募フォーム 審査軸(「未来・次世代のために取り組むこと」)



## ○未来・次世代のために取り組むこと

### 3 事業の継続性

#### (1) 成長性・継続性

① 消費者志向の商品・サービスを、中長期経営計画に組み入れていますか？

上記の社会価値の創出(1)社会価値インパクト②で回答されている同商品・同サービスをご記入ください。

※1つのみ選択可

<input type="checkbox"/>	1 はい	<input type="checkbox"/>	2 いいえ	<input type="checkbox"/>	3 検討中
--------------------------	------	--------------------------	-------	--------------------------	-------

② 事業の進捗を定量的なデータで確認していますか？

上記の社会価値の創出(1)社会価値インパクト②で回答されている同商品・同サービスをご記入ください。

※1つのみ選択可

<input type="checkbox"/>	1 はい	<input type="checkbox"/>	2 いいえ	<input type="checkbox"/>	3 検討中
--------------------------	------	--------------------------	-------	--------------------------	-------

③ 上記3(1)②がはいの場合、どのような定量的なデータかご記載ください。

※複数選択可

<input type="checkbox"/>	1 売上金額	<input type="checkbox"/>	4 収益率
<input type="checkbox"/>	2 社員数	<input type="checkbox"/>	5 その他 50字程度
<input type="checkbox"/>	3 設備投資金額		

#### (2) 経済へのインパクト

① 消費者志向の商品・サービスは、どのようなものですか？

上記の社会価値の創出(1)社会価値インパクト②で回答されている同商品・同サービスをご記入ください。

※1つのみ選択可

<input type="checkbox"/>	1 既存の商品・サービスを改良したもの	<input type="checkbox"/>	3 新たな事業、領域の拡大に活かしているもの
<input type="checkbox"/>	2 新たな商品・サービスとして開発したもの	<input type="checkbox"/>	4 その他 50字程度

② 消費者志向の商品・サービスの経済価値について、ご記載ください。

上記の社会価値の創出(1)社会価値インパクト②で回答されている同商品・同サービスをご記入ください。

※新規開発した商品・サービスの場合は過去の実績が「0」であっても問題ありません。

②-1 過去3年間の実績： 営業利益	②-2 今後3年間の予測： 営業利益目標
平成30年度(2018年度)	円 令和3年度(2021年度)
令和元年度(2019年度)	円 令和4年度(2022年度)
令和2年度(2020年度)・見込み	円 令和5年度(2023年度)

②-3 その他、経済へのインパクトについて特筆すべきことがあれば、ご記載ください。

100字程度

# 応募フォーム 加点軸

(「法令の遵守／コーポレートガバナンスの強化をすること」  
コンプライアンス: 消費者関連法令の遵守、企業倫理の遵守)



1 コンプライアンス	はい	いいえ
(1) 消費者関連法令の遵守		
① 過去1年間に、刑事告発を受けた事件・事故はありましたか？		
② 過去1年間に、不祥事等による操業・営業停止やリコールはありましたか？		
③ 過去1年間に、行政機関からの不利益処分等を受けましたか？		
(2) 企業倫理の遵守		
コンプライアンス(法令・組織内ルールの遵守)の徹底に関する、以下の問いについてお答えください。		
① 明文化された方針がありますか？		
② 明文化された運用ルールがありますか？		
③ コンプライアンスを徹底させるための管理体制がありますか？		
④ 役員または役員に相当する職位の社員が、コンプライアンスに関する管理責任を負っていますか？		
⑤ 過去1年間に、社員によるコンプライアンス違反がありましたか？		

# 応募フォーム 加点軸

(「法令の遵守／コーポレートガバナンスの強化をすること」  
(ガバナンス: 第三者の意見、内部監査、消費者の権利)

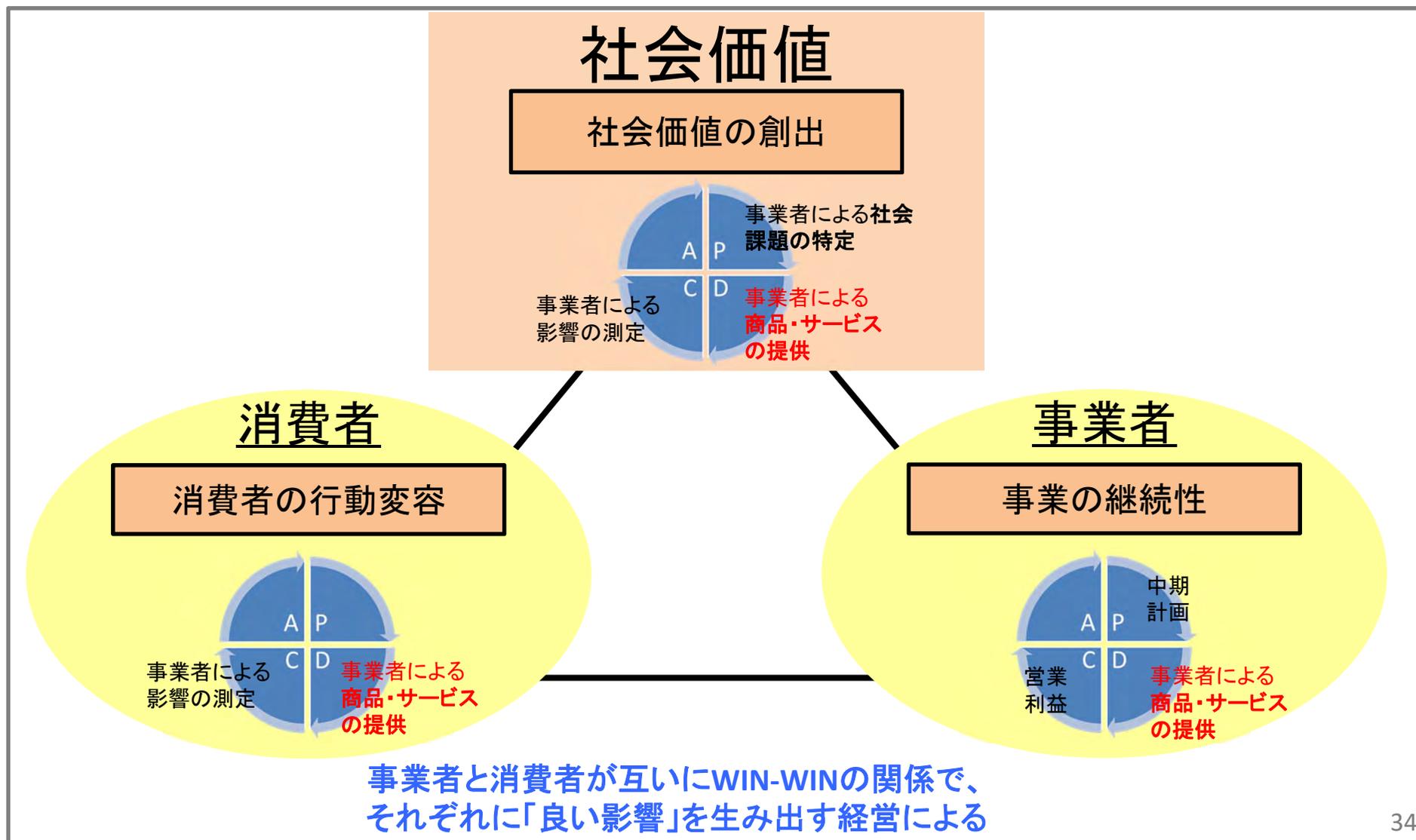


2 ガバナンス			
(1) 第三者の意見			
①	消費者団体や専門家(ESG, CSV, SDGs)等の第三者を入れたアドバイザリーボード・委員会等を設置していますか？		
(2) 内部監査			
①	内部監査を行うルール・運用・管理体制がありますか？		
②	内部通報を受け入れ、対応する窓口の整備がありますか？		
3 ガバナンス 消費者の8つの権利			
(1) 安全である権利			
①	商品・サービスの品質を担保するルール・運用・管理体制はありますか？		
②	法令リコール、自主回収に対応するルール・運用・管理体制はありますか？		
(2) 選ぶ権利			
①	適切な表示・契約書等を通して、消費者が購入時に正しい情報を得るためのルール・運用・管理体制がありますか？		
(3) 知らされる権利			
①	情報開示に関するルール・運用・管理体制がありますか？		
(4) 消費者教育を受ける権利			
①	消費者啓発を行うルール・運用・管理体制がありますか？		
(5) 意見を反映させる権利			
①	消費者の意見、不満、苦情・要望等を、製品・サービスに反映させるためのルール・運用・管理体制がありますか？		
(6) 救済を受ける権利			
①	契約不履行や身体被害等といった消費者被害の補償を行うためのルール・運用・管理体制がありますか？		

# 「未来・次世代のために取り組むこと」の設問の意味

消費者志向経営とは

「消費者」と「共創・協働」して「社会価値」を向上させる経営

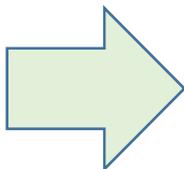


# 令和2年度の優良事例表彰事業概要

本表彰規定に基づき、本事業での表彰は「大臣賞」及び「長官賞」である

### 従来の表彰

- ・ 一般公募方式
- ・ 表彰は以下のとおり。
  - ※ 大臣賞 1社
  - ※ 長官賞 3社

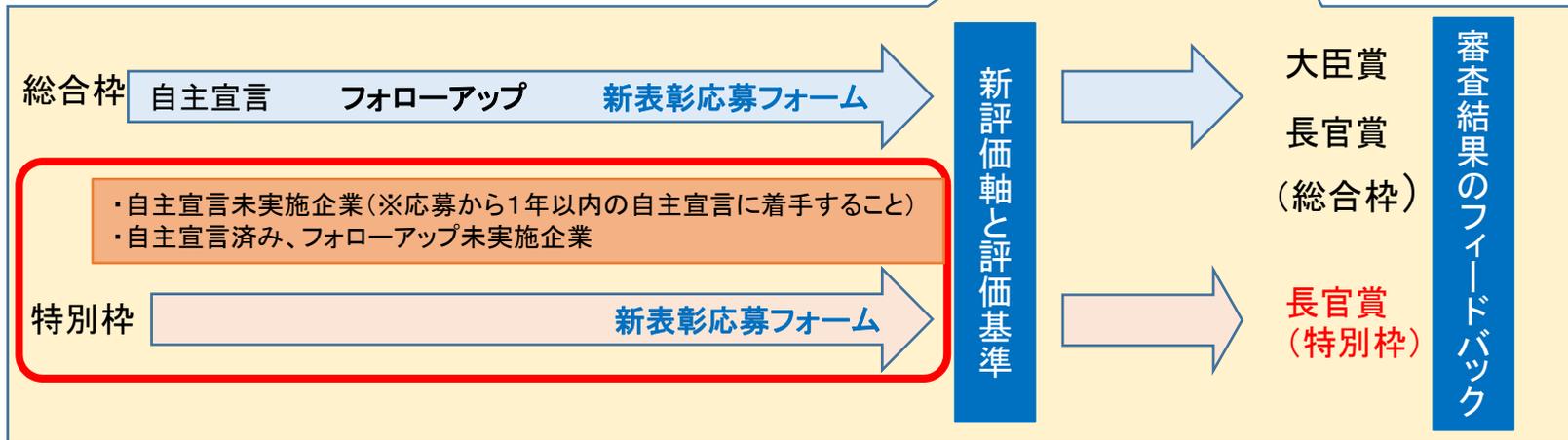


### 令和2年度の表彰(案)

- ・ 一般公募方式
- ・ 表彰は以下のとおり。
  - ※ 大臣賞 1社
  - ※ 長官賞 1～2社
  - ※ 長官賞 (特別枠) 最大2社
  - ⇒長官賞(特別枠)は令和2年度の  
特例措置(応募数の増加を図るため)

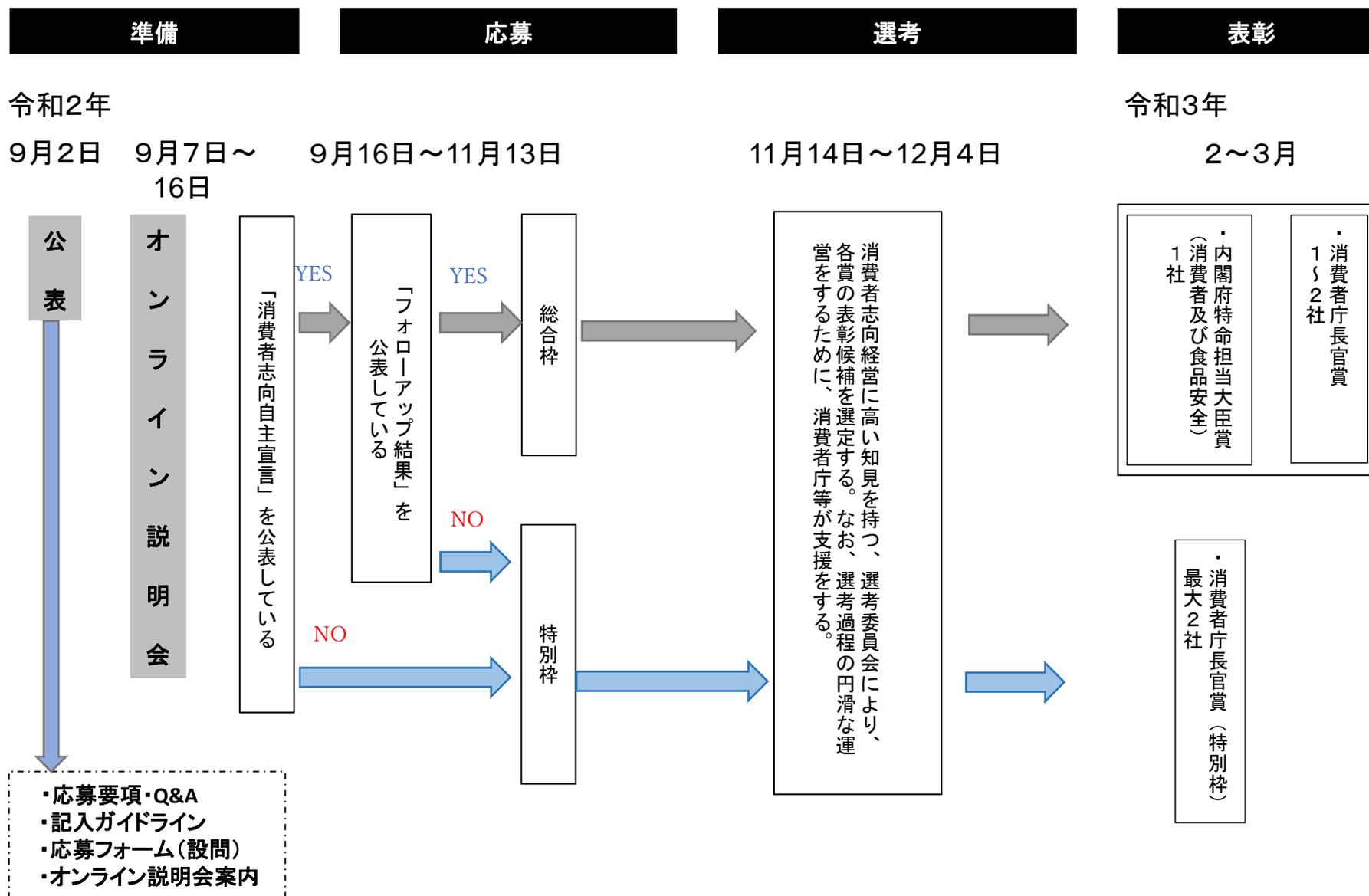
<従来から今年度の変更点>

表彰	取組	評価項目
令和元年度まで	「6つの柱」	独自性、積極性、波及性、社会性
令和2年度より	「3つの活動」	審査+加点



※今年度の検討に基づき、「消費者志向経営優良事例表彰実施要領」等の改訂を行う

# 令和2年度の優良事例表彰事業 応募から選考までのフロー概要



## 有識者検討会での議論された長官特別枠にふさわしいテーマ

	○みんなの声を聴き、かついかすこと	○未来・次世代のために取り組むこと
中小企業 BtoB (toC)	<p><b>&lt;声の聴き方のイノベーション&gt;</b> ・食品ロス削減を促進するためのアプリ開発・プラットフォーム構築</p> <p><b>&lt;取引先との共創・協働&gt;</b> ・CO2の削減のため、取引先と共に、技術革新、生産体制を独自に構築</p> <p><b>&lt;地域住民や社員との共創・協働&gt;</b> ・中長期の経営計画策定への社員の参画</p> <p><b>&lt;声を活かす商品・サービス&gt;</b> ・高齢者が開けやすいパッケージの開発</p>	<p><b>&lt;地域活性・高齢者&gt;</b> ・近隣住民の買物代行サービス提供</p> <p><b>&lt;地域活性・次世代&gt;</b> ・低コストの住宅提供による、子供の教育等への投資拡大を実現</p> <p><b>&lt;地域活性・地球環境&gt;</b> ・自然保全を促す商品開発</p> <p><b>&lt;地球環境&gt;</b> ・自社製品へのリサイクル素材の活用</p> <p><b>&lt;エシカル消費&gt;</b> ・エシカル消費等の消費者の意識変化に対応した商品開発</p>
その他	<p><b>&lt;双方向コミュニケーション&gt;</b> ・消費者と事業者のサステナブルな関係</p> <p><b>&lt;外部との連携性&gt;</b> ・NGO作成のSDGs教育・促進資料を活用したSDGsの浸透</p>	

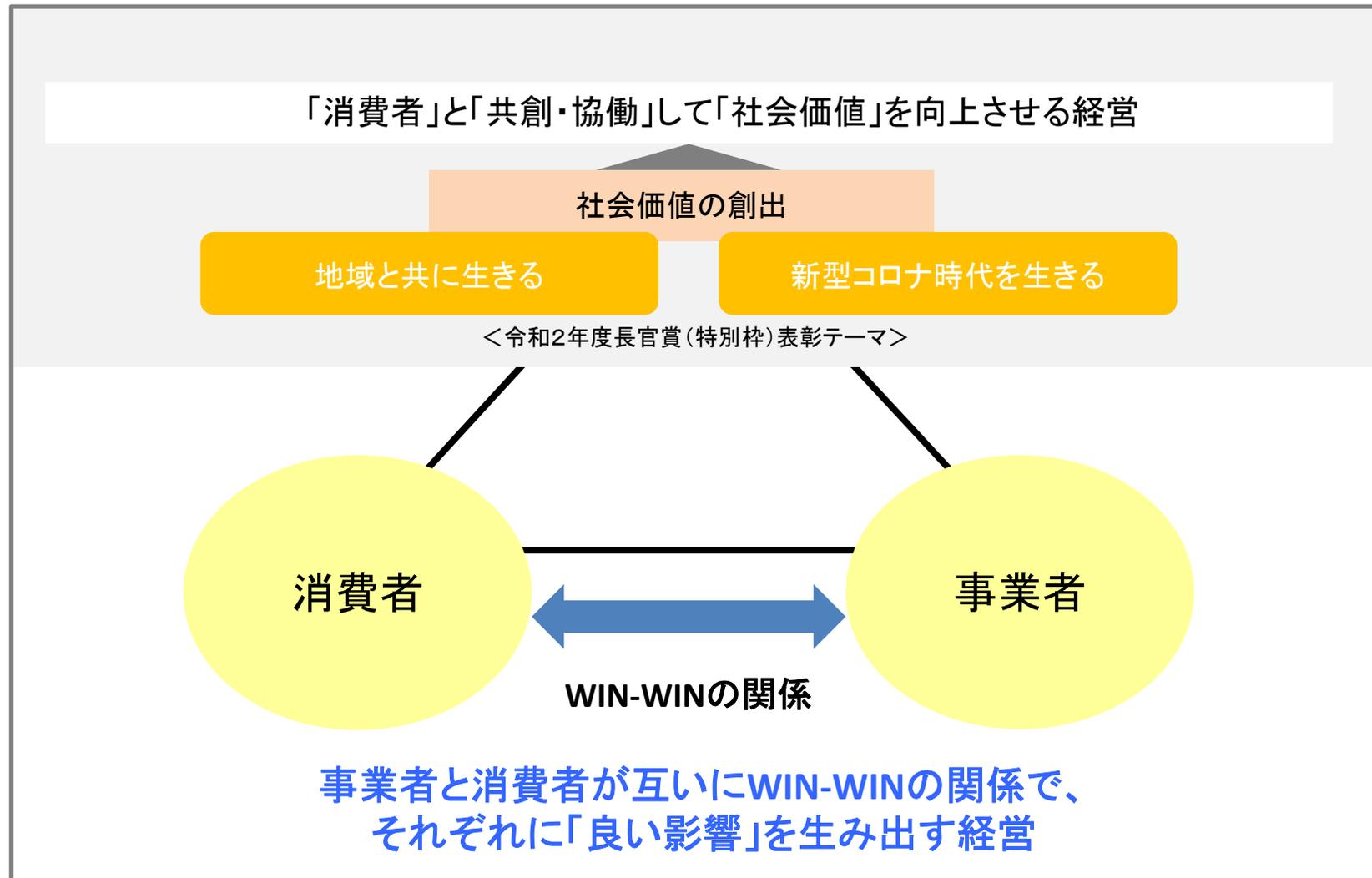


これを踏まえて、長官が決定

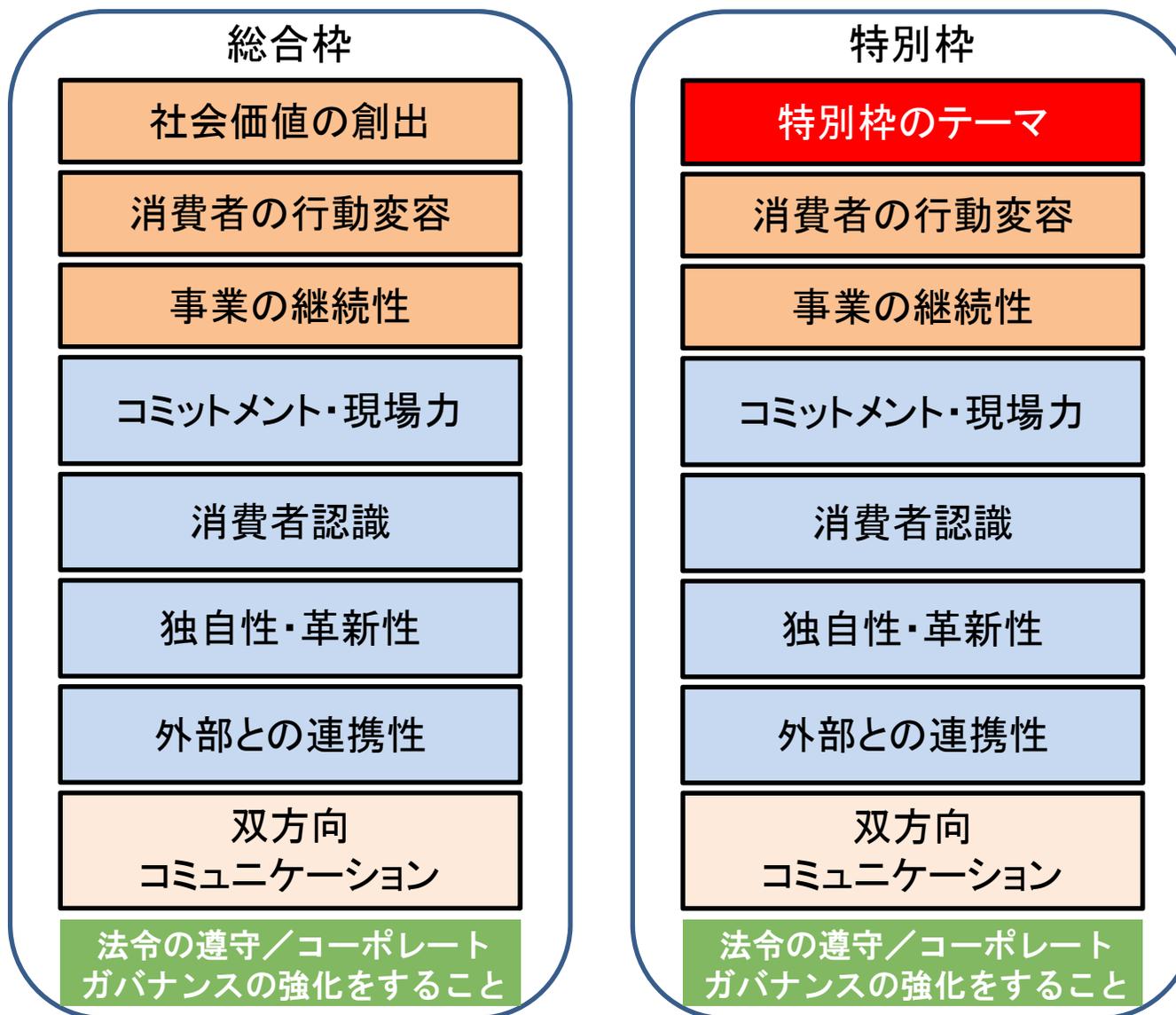
## 長官賞特別枠テーマ

番号	テーマ	内容
1	地域と共に生きる	本業を通して、変化する消費者のニーズを迅速に捉え、地域の社会課題を解決していく取組
	<例> 地域のタクシー会社や商店街が、高齢者等買い物難民の買い物の足の確保や、交流や働く場の提供をし、利便性と地域活性の両立	
2	新型コロナ時代を生きる	本業を通して、消費者と協働しながら、新たな価値を提供している取組
	<例> 飲食店に農産物や畜産物を卸している事業者と、消費者の自宅やフードバンク等をつなぐプラットフォーム事業	

○いずれかを選択する



# 総合枠と特別枠の評価軸

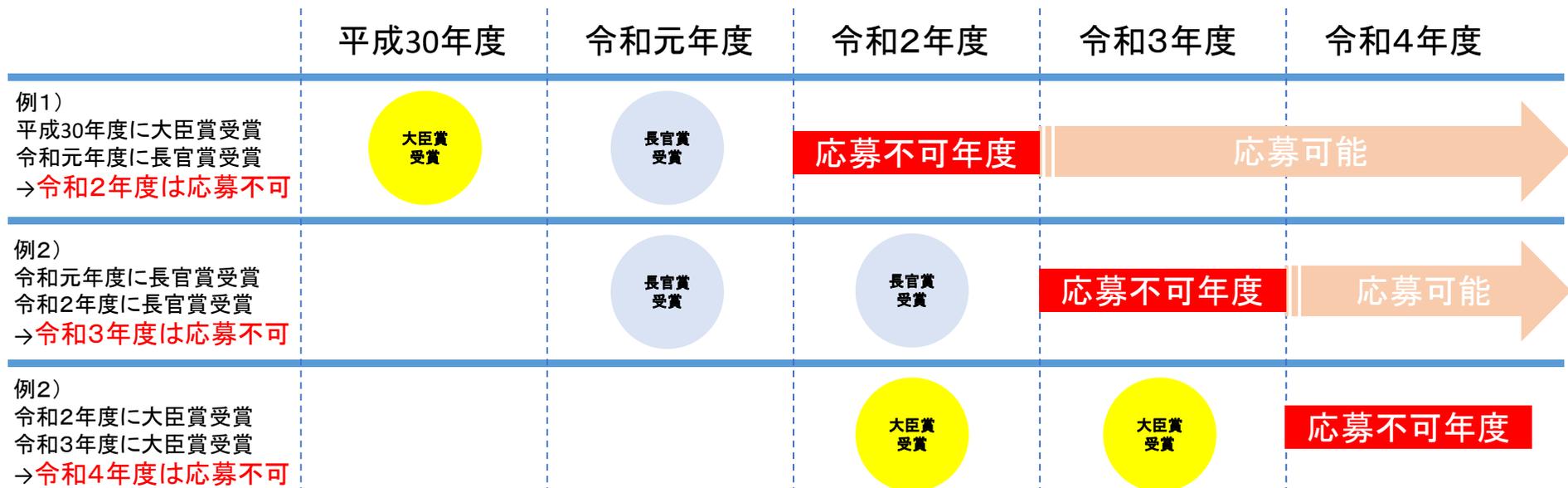


# 連続受賞の考え方

大臣賞又は長官賞を連続で受賞した事業者は、1年は応募できないものとする。

## <連続受賞の考え方のイメージ>

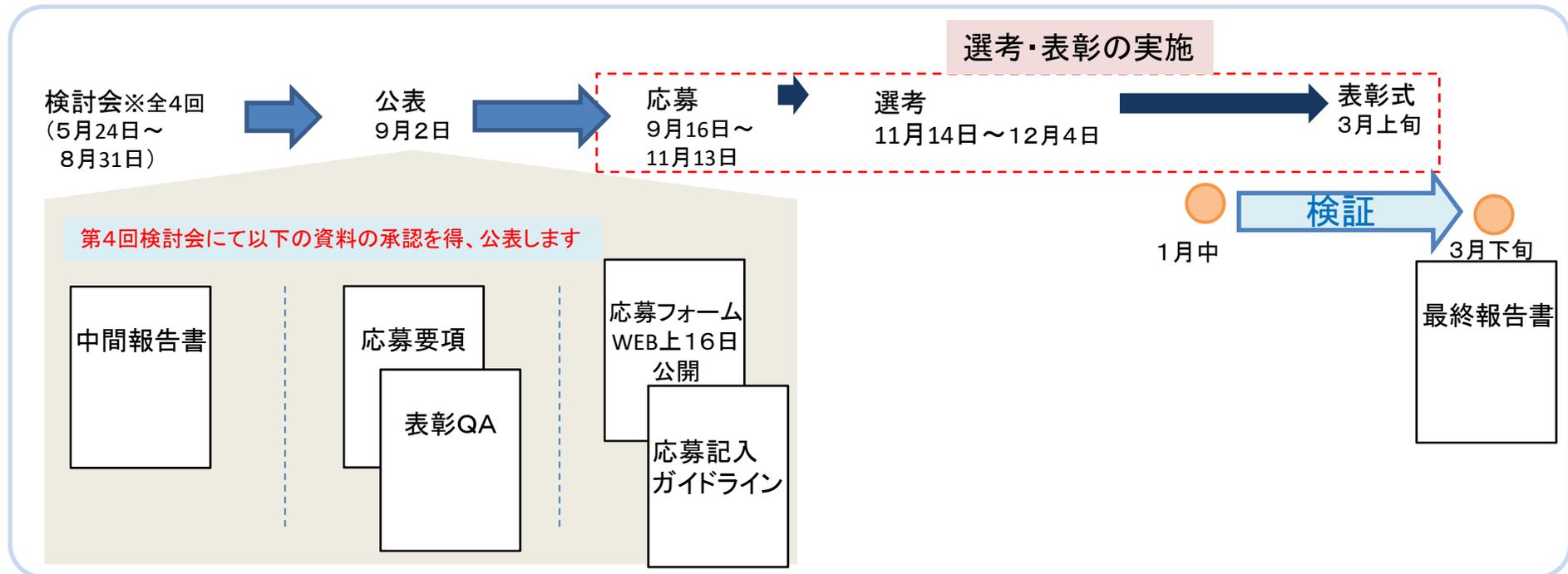
※「応募不可年度」の翌年度より応募可能



# 中間報告時点での成果物一覧

## <令和2年度 有識者検討会の目的>

	目的	成果物
有識者検討会	①表彰の前提となる消費者志向経営の概念整理	・中間報告書
	②優良事例表彰の客観的評価軸及び評価基準	・応募フォーム
選考・表彰	③(新しい評価軸を用いた)令和2年度優良事例表彰の実施及び検証 等	・応募要項 ・表彰Q&A ・応募記入ガイドライン



## <令和3年度 有識者検討会の目的>

令和2年度の検討内容を受けて、令和3年度見直しの方向性を決定

⇒令和2年度の積み残し課題も併せて検討：金融との紐付けや公益通報者認証制度との連携